

第34回 沖縄県児童養護研究大会 開催要綱

～子どもの特徴にあわせた支援と自立に向けた取り組みの強化～

1. 趣旨

近年、子どもの貧困問題などの生活困窮世帯にみられる厳しい養育環境や児童虐待の通報件数の増加など、子どもを取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

児童養護施設や里親世帯等においては、虐待などでトラウマ（心的外傷）を残すような体験を経験した児童をはじめ、発達障害や愛着障害など様々な課題を抱える児童が生活しています。

また、児童が施設等を退所後に自立した生活が送れるよう、生活訓練や就労支援等の取り組み強化が必要です。

そうした中、児童養護の職員や関係者には、一人ひとりの特徴に配慮した関わりが求められています。

本研究大会は、県内の児童福祉関係者が一堂に会し、課題を抱えた児童のニーズに対応した支援のあり方について学び、児童の健全な育成と自立に向けた取り組みの強化に資することを目的に開催します。

2. 主催 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 沖縄県児童養護協議会

3. 日時 平成28年12月9日（金） 10時 開会（受付 9時30分～）

4. 会場 沖縄県総合福祉センター ゆいホール 他3会場
〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1 TEL：098-882-5811

5. 日程及び内容

9:30	9:50	10:00	10:30	12:30	13:30	16:00
受付	開会	行政説明	講演	昼食	研究部会	終了

■10:00～10:30

【行政説明】 子どもの貧困対策について（仮題）
調整中（沖縄県 青少年・子ども家庭課）

■10:30～12:30

【講演】 演 題 「トラウマからの回復支援に関する基礎知識」
講 師 本村 真 氏（琉球大学 法文学部 人間科学科 教授・
子どもの居場所学生ボランティアセンター センター長）

■13:30～16:00

【研究部会】 （定員数 各65名）

第1研究部会「発達障害やその疑いを抱える児童の理解と支援について」

第2研究部会「食卓を通して育まれる力」

第3研究部会「愛着障害の理解と効果的な支援について」

※詳細については、別紙「研究部会テーマ」のとおり

6. 参加対象 児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、自立援助ホーム、保育所、
県母子寡婦福祉連合会、県里親会、児童相談所、母子生活支援施設、
福祉事務所等児童福祉関係者、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、
学校関係者、学生 他

7. 定員 200名（定員に達し次第締め切ります）

8. 参加費 1人：3,000円（弁当代含む）
※ただし、学生は1人につき1,000円（弁当代含む）

9. 申込方法 別紙「参加申込書」に必要事項を御記入のうえ、平成28年11月18日（金）
までに、FAXにてお申し込みください。
※参加申込と同時に、下記口座へ参加費等のお振り込みをお願いいたします。

■金融機関名 琉球銀行 石嶺支店（店番323）
■口座番号 （普）315-935
■口座名義 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川 昌秀
＊フリガナは「フク・オキナワケンシャキョウ」と御記入ください。

※お振り込み時の注意（経理担当者等へのお願い）※

振込先が確認できるように必ず御依頼人名（施設名）を先に御記入ください。

【記入例】

「児童養護施設 △△園」ではなく、
「△△園」または「△△園 児童養護施設」と御記入ください。

※振込手数料は、参加申込者負担となります。

※定員超過等により、申込受付できない場合は御連絡いたします。

10. その他 （1）申込み後の参加費等は原則、返金いたしません。後日、本研究大会資料
を送付いたします。
（2）「参加申込書」に記載された個人情報、本研究大会を運営する目的に
のみ使用いたします。

12. 申込み・問合せ先

沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部（新崎・下地）
〒903-8603 那覇市首里石嶺町 4-373-1 西棟 4階
TEL：098-887-2000 FAX：098-887-2024

第 34 回 沖縄県児童養護研究大会 研究部会テーマ

第 1 研究部会 「発達障害やその疑いを抱える児童の理解と支援について」

テーマ解説 社会的養護を必要とする児童において、発達障害等の障害のある児童の割合は年々増加傾向にある。発達障害児においては、日常生活の困難さや対人関係におけるトラブル、不登校、暴言暴力、学校での落ち着きのなさ等さまざまな「不適応」を引き起こしており、児童養護施設や児童自立支援施設、里親等、支援を行う側は対応に苦慮している現状がある。

今後、医療機関をはじめ地域や学校との協働、各関係機関との連携体制、施設内でのさらなる連携が求められている。

国より「社会的養護の将来像」が取りまとめられ、施設の小規模化、家庭的養護の推進を図っていく中で、発達障害児への養育支援は引き続き大きな課題であり、関係者全体で協議を行い、今後のより適切な支援に繋げていきたい。

運営方法 事例発表・全体討議

助言者 羽地 知香 氏

(那覇市療育センター 保育士・沖縄女子短期大学 非常勤講師)

発表施設 石嶺児童園・若夏学院

第 2 研究部会 「食卓を通して育まれる力」

テーマ解説 養育の目標は、自立支援である。養育においては、こどもが社会に巣立つときに必要な前向きな人生観・価値観の形成を促すにあたり、自己肯定感を育むあたにかい言葉（思い出作り）が求められる。

それらを実現するにあたり、家庭的な食卓が身近にあることは大いに意味がある。食とは、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎である。食卓において交わされる会話や挨拶、感謝の想い、そしてそこで身につく食事の姿勢やマナーは、こどもが社会に出てからの健康管理・自己防衛力、コミュニケーション力・コーディネート力に繋がる。

そこで、本テーマでは、毎日こどもたちと食を共にする上で、養育姿勢の方向性、こどもや他のスタッフとのコミュニケーション力、基礎的な食育の知識を学び、家庭的な食卓づくりについて学ぶ。

講義テーマ「退園後における食の自立にむけての基本的な食育の知識」

GWテーマ「食の自立にむけての日常的な取組・課題」

運営方法 講義・全体討議

助言者 古堅 由紀子 氏（沖縄県栄養士会 管理栄養士）

第 3 研究部会 「愛着障害の理解と効果的な支援について」

テーマ解説 児童養護施設や乳児院においては、現在多くの課題を抱えた児童が入所している。中でも、健全な親子関係の中で育まれる愛着の形成が不十分で、愛着障害のある児童には、様々な配慮が求められている。

施設職員は、医療機関をはじめ関係機関と連携を図りながら、試行錯誤しつつ支援しているが、愛着障害のある児童は、他者との距離感がうまくとれなかったり、周囲との信頼関係を構築することが困難で孤立したり、暴力的になったり、様々な問題行動を呈する状況がある。このような児童と愛着関係を再構築し、問題行動の改善を図るため、施設職員は、適切な支援方法を求め、模索しながら、日々取り組んでいる状態でもある。

本研究部会では、愛着障害に関する理解を深めるとともに、より効果的な支援についてグループ討議を行い、今後の支援につなげていきたい。

運営方法 事例発表・グループ討議

助言者 上地 信乃 氏（沖縄県臨床心理士会 臨床心理士）

発表施設 漲水学園・ならさ

※FAX送信状不要です。

送付先／沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部（担当：下地）行き
FAX：098-887-2024

第34回沖縄県児童養護研究大会 参加申込書

施設・団体・機関等名：

記入担当者氏名：

電話番号：

FAX番号：

No.	氏 名	ふりがな	職 名	希望研究部会		参加費 (3,000円) ※学生は、 1,000円	備 考
				第 1	第 2		
例	沖縄 花子	おきなわ はなこ	児童指導員	1	3	○	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
送金日： 月 日			合計（送金額）： 円				

<留意事項>

①研究部会欄には、必ず第2希望まで御記入ください。

会場の都合等により、第2希望になる場合がありますので御了承ください。また、定員超過等により、申込受付できない場合はその旨を御連絡いたします。

②参加費等は、申込と同時に指定口座にお振込みください。（開催要綱「9. 申込方法」を御参照）

③お申し込み後の参加費等は原則返金できません。後日、資料送付での御対応とさせていただきます。

*申込締切：平成28年11月18日（金）《必着厳守》